



2018年7月吉日  
日本製紙株式会社

## “紙でできることは紙で。” 紙化ソリューション推進室を新設

～循環経済の実現に貢献する素材・「紙」の利用シーン拡大へ～

日本製紙株式会社(社長:馬城 文雄、以下「当社」)は、本年8月1日付で、グループ販売戦略本部の中に、「紙化ソリューション推進室」を新たに設置します。

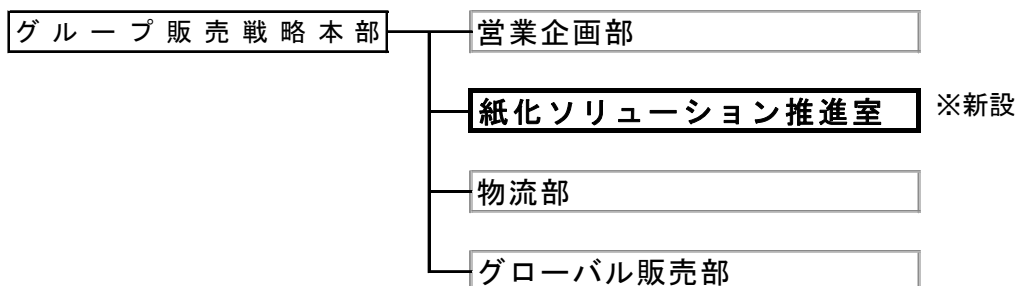
近年、使い捨てプラスチック製品による海洋汚染問題がクローズアップされていることを背景に、世界各国で再利用可能な製品や生分解性を有する製品などへの需要が高まっています。その中で、再生可能な資源である「木」を原料とする「紙」は、リサイクル可能な素材として、それらのニーズを満たすことが期待できます。

当社グループは、牛乳パックなどの飲料用紙容器をはじめ、紙カップ、包装用紙など、これまでも「紙」を素材とするパッケージ用途の製品を、食品・飲料など幅広い産業分野に供給してきました。さらに、紙にバリア性を付加した新しい包材として「シールドプラス®」を昨年11月に上市するなど、“紙でできることは紙で。”を合言葉に新製品の開発を推進し、ラインアップを拡充しています。

今回、新設する「紙化ソリューション推進室」は、当社グループが有する「紙」に関する技術・知見の蓄積などを最大限活用することにより、今後一層高まるとされる「紙化」のさまざまなニーズに柔軟に対応します。

循環経済の実現に貢献する素材として期待される「紙」に関するあらゆるご要望に対し、当社グループの窓口としての的確なソリューションをスピーディーにご提案することを目指し、当社グループの成長につながる新たな販売機会を創出・獲得してまいります。

### 《8/1付 組織概要》



本件に関するお問い合わせ  
日本製紙株式会社  
営業企画部長 長 知明  
(TEL 03-6665-1032)

以上



日本製紙株式会社